

質 疑 応 答 書

件 名 大島第1幹線管きよ布設工事（R7国補公下雨第1号）

質 問 事 項	回 答
<p>泥濃推進工について</p> <p>推進管の材料費は、見積り単価の最安値または、平均のどちらを採用していますか。</p> <p>本工事費内訳書 P1</p>	<p>設計単価は、土木工事等建設資材単価公表要領、物価資料掲載価格により採用しています。上記によりがたい場合で1資材100万円以上もしくは類似品目の合計が1000万円以上の場合は特別調査価格、それ以外の資材は見積りとっています。なお、物価資料・見積りは平均値を採用しています。</p>
<p>泥濃推進工について</p> <p>仮設用電力設備1式の明細を明示していただけないでしょうか。</p> <p>本工事費内訳書 P1</p>	<p>設計書より判断願います。</p>
<p>仮設備工（泥濃）について</p> <p>掘進機引上用受台（主部材 H-300）賃料の供用日数は何日ですか。</p> <p>本工事費内訳書 P3</p>	<p>設計書より判断願います。</p>
<p>管路路面覆工について</p> <p>覆工板賃料の供用月数は何ヶ月ですか。</p> <p>本工事費内訳書 P10</p>	<p>設計書より判断願います。</p>
<p>管路路面覆工について</p> <p>覆工板の規格は、（鋼製補強型）（鋼製すべり止め補強型）どちらを計上していますか。</p> <p>本工事費内訳書 P10</p>	<p>鋼製補強型にて計上しております。</p>
<p>取付管布設工について</p> <p>メタルクラウン Φ400の規格を明示していただけないでしょうか。</p> <p>本工事費内訳書 P11</p>	<p>礫質土対応 外径406.4mm L=150mm t=9.5mm を想定しております。</p>
<p>役務費について</p> <p>電力基本料金1式の明細を明示していただけないでしょうか。</p> <p>本工事費内訳書 P24</p>	<p>設計書より判断願います。</p>

発生土処理について

泥濃推進工で発生する、泥水の運搬・処分が本工事内訳書では、土砂運搬・ストックヤード搬入で計上されていますが、泥水運搬（汚泥吸排車）・汚泥処分が必要と考えられます。設計変更の対象となりますか。

本工事費内訳書 P1~2

・家屋調査の実施基準等について

「工事に伴い近隣建物に影響を及ぼすおそれがある場合には、必要に応じて独自に調査を行う」との記載がありますが、家屋調査に関して市が定める実施基準等はございますでしょうか。

・発進プラント用地及び土砂仮置き場について

「隣接地に発進プラント用地として発注者により借地している」との記載がありますが、本工事内訳書には土砂運搬が2回計上されています。これは別途仮置き場等が存在するという理解でよろしいでしょうか。また、発進プラントより発生する土砂は泥土になると考えられますが、どのように取り扱われる計画でしょうか。

・排泥処理について

泥濃推進工において、排泥処理費が計上されていないように見受けられます。発生した排泥および土砂については、すべてストックヤードへ搬出する計画という理解で相違ないでしょうか。処理方針についてご教示願います。

・廃泥水の処分について

廃泥水の処分については「適正な処理を行う」との記載のみで、処分量や運搬距離の具体的な記載がなく、処分費用も計上されていないように見受けられます。本工事における廃泥水処分の考え方について、詳細をご教示願います。

受注後協議いたします。

市独自の実施基準は作成しておりません。

なお、発進立坑近接のアパート2棟の事前調査については、家屋等被害調査業務委託を別途発注しており現在履行中です。

設計図書記載のとおり仮置き場までの運搬及びストックヤードへの運搬・処分を計上しております。

施工時に受注者が泥土としての処分が必要と判断した際には協議いたします。

上記のとおりです。

当該項目については泥排水の処分について必要となった際の指針として記載しております。その際、詳細については協議いたします。

<ul style="list-style-type: none">・発進立坑の鋼矢板について 図面 12/26「M5 発進立坑構造図」において鋼矢板の設計寸法が $L = 16.0\text{m}$ と記載されていますが、周辺道路状況を踏まえると当該寸法の鋼矢板の搬入は困難であり、継矢板を使用するのではないかと考えられます。設計意図をご教示願います。・土留工について 図面 17/26「土留工（集水枠）・土留工標準図」および図面 25/26「M4 特殊マンホール雨水管接続計画図（参考図）」において、軽量鋼矢板およびアルミ矢板を使用した標準断面図が示されていますが、即日復旧が困難な場合の施工方法や対応方針についてご教示願います。	<p>当初設計においては継矢板の使用は想定しておりません。施工時に受注者が必要と判断した際には協議いたします。</p> <p>受注後協議いたします。</p>
---	--

上記のとおり回答します。